



全日病 S-QUE e ラーニング 看護師特定行為研修

呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連

区分別科目



(D) 人工呼吸器からの離脱

人工呼吸器からの離脱（ペーパーペイシェント）(2)

岸和田徳洲会病院救命救急センター医長

薬師寺 泰匡 氏

演習 人工呼吸管理からの 離脱2

岸和田徳洲会病院
 救命救急センター
 薬師寺泰匡

本日の内容

目標
 ・人工呼吸管理からの離脱が行える

内容
 ・症例提示を行い、各施設で作成した手順書に基づいて人工呼吸器からの離脱を行う

自発呼吸トライアル

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

①酸素化が十分である
□FiO2 ≤ 0.5かつPEEP ≤ 8cmH2OのもとでSpO2 > 90%

②血行動態が安定している
□急性の心筋虚血、重篤な不整脈がない
□心拍数 ≤ 140bpm
□昇圧薬に依存していない(DOA ≤ 5μg/kg/min、DOB ≤ 5μg/kg/min、NAD ≤ 0.05μg/kg/min)

③十分な換気能力がある
□1回換気量 > 5ml/kg
□分時換気量 < 15L/min
□Rapid shallow breathing index (1分間の呼吸回数/1回換気量) < 105/min/L
□呼吸性アシドーシスがない(pH > 7.25)

④異常呼吸パターンを認めない
□呼吸補助筋の過剰な使用がない
□シーソー呼吸(奇異性呼吸)がない

⑤全身状態が安定している
□発熱がない
□重篤な電解質異常を認めない
□重篤な貧血を認めない
□重篤な体液過剰を認めない

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり
⇒ 担当医師に直
接連絡し、指
示を仰ぐ。

問題 1

60歳女性（体重45kg）
 4日前肺炎とうっ血性心不全で入院。
 気管挿管下に人工呼吸管理がなされている。
 人工呼吸はPCVとなっている
 本日SATに成功した

モード	FiO ₂	吸気時間	PEEP
PCV	0.3	1.0 s	5 cmH ₂ O

吸気圧	TV	呼吸回数	立上がり時間
15 cmH ₂ O	400	15	0.2 s

問題 1

神経系
 鎮静なし
 フェンタニル 25μg/hr
 RASS 0

循環系
 カテコラミン使用なし
 AP 110/80 (MAP90) HR80bpm
 末梢温感
 尿量30mL/hr

問題 1

SpO2 96% 呼吸回数15回
 呼吸平靜 呼吸音清 不整脈出現なし
 BT36.7度
 <動脈血液ガス検査>

pH	PaCO ₂	PaO ₂	HCO ₃	BE	Lac
7.382	40.9 mmHg	70 mmHg	23.9 mmol/L	1.2 mmol/L	9 mg/dL

Na	K	Cl	Ca	Hb
137 mEq/L	4.0 mEq/L	103 mEq/L	1.19 mmol/L	12.5 g/dL

この人にSBTを行います
 人工呼吸の設定変更をしましょう

問題 2 CPAPで30分観察後

モード	FiO ₂	PS	PEEP
CPAP	0.3	0 cmH ₂ O	5 cmH ₂ O

呼吸回数24回 SpO₂ 93% HR100 AP120/82

胸鎖乳突筋を使用 呼吸音清

末梢冷感湿潤なし やや顔をしかめている

<動脈血液ガス検査>

pH	PaCO ₂	PaO ₂	HCO ₃	BE	Lac
7.280	50.8 mmHg	63 mmHg	24.9 mmol/L	1.2 mmol/L	9 mg/dL

SBTの成否を判断し、次のアクションを考えてください

本日のまとめ

目標

- ・人工呼吸管理からの離脱が行える

内容

- ・症例提示を行い、各施設で作成した手順書に基づいて人工呼吸器からの離脱を行う